



工事中の市道興野新光線

TPPと減反廃止の市長見解

問 両方とも賛成するとの報道に多くの声がある。全体の意見状況をどう聞いた判断なのか。その後の展望をどう描いているのか。地域農業のために責任ある役割をどう果たしていく考えか。飼料米増産の試算モデルをどう見ているのか。

答 報道の後には厳しいご意見も聞いている。農家の皆さまと十分な話をしており、不安の声も多いがさりとて現状維持だけでは長期展望が持てる羅針盤の方向は見いだせない。供給サイドのコントロールだけで米価は維持できなくなっている。流通の多様化、グローバル化が進みマーケットが変化している状況なので、競争原理を前提にしながら価格競争を脱却した付加価値を求める方向感が必要になっている。国策を前提にしながらもサブシステムとしての地域農政の役

JR東三条駅南北自由通路の設置について

問 南北自由通路の必要性についてどのようにお考えか。

答 南北自由通路は、駅前広場の整備に併せて行うことで事業効果が発揮されるものと認識している。今の段階においては、財政見直し等々を考えると長期的な検討課題にならざるを得ない状況である。



東三条駅

市長の議会対応、答弁の基本姿勢について

問 最近の市長答弁は聞いてもいないことを答弁されたり、思い込みの答弁であったり、質問者によって答弁時の姿勢や丁寧さが違うように感じている。どのようない基本姿勢で臨んでいるのか。

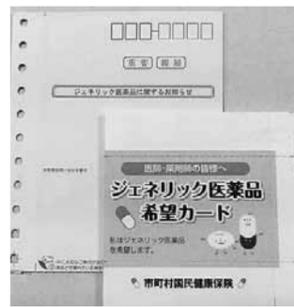
答 二元代表制として一番は意見交換を公式な場ですることであり、大切

割を果たしていきたい。セーフティネットとしての補助金政策については、国にも意見を言っていきたい。飼料米増産モデルはまだ全体像がつかまびらかではないが、正面から検討していかなければならないと考えている。

レセプトの活用で医療費の適正化を

問 データヘルス計画の認識はどうか。レセプトのデータは有効活用する。健診後の未受診者に保健師や看護師による個別の受診勧奨をしている。

答 ジェネリック医薬品の効果はどうか。ジェネリック医薬品カードを送付している。25年2月の差額通知後の3カ月の保険者負担7割相当分では、合計で143万5000円の効果が



送付されている希望カード

アベノミクスと地域活性化について

問 三条市の景気動向と実態はどうか。24年の8月に踊り場局面を迎え、一進一退の状況から堅調な回復傾向にあ

な場がこの本会議であると思っ

国保税について

問 この3年間で、所得200万円の4人家族で6万3800円、約2割も国保税が増加した。値上げはもう限界。加入者だけに負担を押し付けるのか。

答 平成27年度までに赤字解消を図る。努力の範囲は、国の特別調整交付金を確実に取ってくることを認識して

公共施設利用料について

問 利用料の負担を気にせず練習できる環境づくりが、スポーツ都市宣言をしている三条市のやるべきことではないか。

答 減免基準の趣旨を理解してもらえよう丁寧に対応する。

高校生通学ライナーバスについて

問 現在、朝1便、夕方2便の運行だが、利用が少くない。保護者から時間が合わないとの指摘がある。実態調査し検討すべきか。

答 今後、部活動等を調査し検討したい。

新一般廃棄物最終処分場について

問 新一般廃棄物最終処分場建設の今後

る。

問 公共施設の老朽化対策はどうか。新経営戦略プログラムの策定時に全ての公共施設の建築年次、維持管理経費を施設台帳としてまとめたい。今後は予防保全的な管理を行い、長寿命化を図る。

問 農商工連携による6次産業化の取り組みはどうか。

答 燕三条「畑の朝カフェ」やイタリヤ野菜研究会を代表事例としながら、新たな形を加えて市場に打って出る方を支援する。農業活性化プランに基づく農業担い手育成事業等による支援策を引き続き行っていく。

農政について

問 政府が2018年をめどに米の生産調整を廃止する方向で検討していることについて、新潟日報社のアンケート調査に市長は、条件付きで賛成と回答されたが、この判断をするのに農家および農業団体の意見を聞かれたのか、それとも自分の考えとしたのか。農家の気持ちを考えて、例えば賛成であったとしても保留とす



垂れ下がる稲穂

問 10月22日の三条市長日記に書かれていたこと

答 具体的な施設の内容としては、クリエイターの創業を支援するインキュベーションスペースや、地域の方々が自由に活動できる地域活動スペースの設置を想定している。具体的イメー

「人口減少とまちづくり」について

問 社会減抑制のために、高齢化の著しい地域の用途地域を見直したらどうか。

答 来年度、三条市総合計画の見直しをする。その中で検討する分野の粗上

社会教育と学校教育の連携について

問 機構改革をして6年目。生涯学習課を市長部局に移した具体の効果は何

答 機動的に活動ができる領域を広めて

「一番星」について

問 市長発言の「一番星を育てる施策展開」とはどういうものなのか。

答 スポーツ、文化芸術、学習の各分野で中高生を対象に、優れた指導者による育成支援をしていくもの。

指揮命令系統を乱しているのは市長本人！

問

ることができなかったのか。

問 この手の質問は、他の人と相談して回答したことなど一度もない。セーフティネットを張らなければ生産調整を続けようとして続けまいと、これからの農家にとって持続可能性は無いのではないか。

土木行政について

問 水道路工事の今年度の実施状況はどうか。来年度の予算はどうか。

答 自治会の要望に対して十分応えられないが、財政状況の中で重点化を図りながら今後も進めていきたい。

農振除外について

問 権限者でありながら無に等しい権限について、今後の見直しはどうか。

答 内閣府の地方分権改革有識者会議の農地関係の専門部会に、農振除外における県知事同意の撤廃をお願い申し上げた。

インキュベーション機能を持ったものづくり拠点の設置について

問 設置に向けた検討はどのようになっているのか。

答 具体的な施設の内容としては、クリエイターの創業を支援するインキュベーションスペースや、地域の方々が自由に活動できる地域活動スペースの設置を想定している。具体的イメー

10月22日の三条市長日記に書かれていたこと

問 ハラダ。市長はこのブログのどこが問題かと言われたが、どこが問題かを理解できない市長自身が問題。市役所内部で解決すべきことを自分の思うようにいかないからといって感情に任せて書かれている。誰もが見られるネットを使って、まして教育委員会事務局の職員をターゲットにして意識的に書いていることは悪質なじめだ。ネット上のじめ、パワハラ



????????????

問 我ながらよくできている文章だと思う。パワハラとは思わない。ブログを見て職員の中でおかしいと思うのは覚悟が足りないと思う。指揮命令系統を乱したとは思っていない。

問